

10 「大学のまち京都・学生のまち京都」の推進のための留学生受入環境の整備

(総務省・文部科学省)

今日、国内における少子化への対応や国際的な大学間競争に直面している各大学においては、魅力ある学びの環境の充実を図るとともに、海外留学の促進や海外からの研究者及び優秀な留学生の受入拡大を図るなど、大学の国際化を急いでいます。

国の「教育振興基本計画」においては、「留学生 30 万人計画」の実施が特に重点的に取り組むべき事項として掲げられており、平成 32 年の実現を目途に留学生受入れを拡大させることとされています。

京都市におきましても、平成 20 年に当時約 4,500 人であった留学生を平成 29 年度までに 1 万人へと倍増する計画を策定し、優秀な留学生の受入拡大に向けて、各大学の取組と連携し、住居をはじめとする受入環境づくりに取り組んできました。

今後、留学生の更なる増加を図るうえでは、良質な留学生宿舍の確保が必要ですが、単独大学での留学生宿舍の整備は経済的負担が大きいことから、民間事業者・地域・行政機関と連携した取組が求められています。

こうした中、国におかれましては、大学が自治体やNPO、ボランティア団体等と連携し、地域一丸となって留学生支援を行う仕組みを支援する留学生交流拠点整備事業を今年度の新規事業として実施されております。

つきましては、留学生の受入環境を整備し、世界に誇る「大学のまち」「学生のまち」を実現するために、次のとおり提案・要望します。

提案事項

優れた民間の取組を後押しすることによって効率的に留学生宿舍整備を進めるための財政支援制度の創設

京都市・京都府共同提案

要望事項

留学生交流拠点整備事業のモデル地域への指定

京都市・京都府共同提案

所管の省庁課：総務省（自治行政局地域政策課） 文部科学省（高等教育局学生・留学生課）
京都市の担当課：総合企画局 市民協働政策推進室 大学政策課長 川口伸太郎 TEL 075-222-3031
総合企画局 国際化推進室 交流推進担当課長 菅沼信 TEL 075-222-3072

【京都市の取組】

各大学の取組と連携し、住居をはじめとする受入環境づくりを推進

- 京都市向島学生センター（平成2年開設，234戸）
外国人留学生・研究者等の居住施設として利便を図るとともに，教育文化活動の推進を図ることを目的に設置。
- 市営住宅の活用（平成20年度から実施）
- その他にも，市内14文化施設等の入場を無料とする「留学生おこしやすPASS」の発行や，「京都留学生情報サイト」の開設など，留学生の受入環境整備に取り組んできた。

京都市内の留学生数は，平成13年から10年間で約2倍に増加！
H13.5 3,145人 → H23.5 5,852人

留学生数を更に増やすためには，留学生宿舍の整備など，
更なる受入環境の整備が必要！

課題

「留学生誘致には宿舍確保が必要だが，新設は経費がかさみ，償還に年数がかかる。長期的な見通しが得にくいいため，独自整備は難しい・・・」

「渡日前から安心できる住居をリーズナブルに確保したい。海外の先進地域では当たり前のサービスなのに・・・」

【大学】



【留学生のニーズ】



提案

民間事業者の取組を後押しすることによって，効率的に留学生宿舍整備を推進！

【事業スキーム（案）】

国の財政支援を受けて京都市で優良留学生宿舍整備助成要綱を策定

⇒民間事業者からの助成申請に基づき，交付先を決定し，優良な留学生宿舍整備を促進する。

（評価ポイント）①耐震性確保など，住宅としての質確保 ②安価な家賃・分かりやすい料金体系 ③ウェブでの海外向け情報発信 ④留学生以外の学生との共生 ⑤交流活動など地域との連携 ⑥留学生や語学の堪能な学生の力を活用した管理